

決 算 審 査 特 別 委 員 会

平成 2 3 年 9 月 9 日（金曜日）

決 算 審 査 特 別 委 員 会

平成23年9月9日（金曜日）

付議事件

委員長の互選

副委員長の互選

出席委員（9名）

委員長	向 後 悦 世
委員	滑 川 公 英
委員	平 野 忠 作
委員	太 田 將 範
委員	飯 嶋 正 利

副委員長	伊 藤 房 代
委員	景 山 岩三郎
委員	島 田 和 雄
委員	宮 澤 芳 雄

欠席委員（なし）

委員外出席者（2名）

議 長 林 一 哉

副 議 長 嶋 田 哲 純

事務局職員出席者

事務局 長	堀 江 通 洋
主 査	榎 澤 茂

事務局 次 長 向 後 嘉 弘

開会 午後 1時31分

○議会事務局長（堀江通洋） どうも本会議でお疲れのところご苦労さまでございます。

それでは、決算審査特別委員会を開催するに当たり、委員長が選出されておられませんので、旭市議会委員会条例第10条第2項の規定により、委員長が選出されるまでの間、出席委員の中の年長者でございます滑川公英委員に座長を務めていただきたいと思います。

それでは、滑川委員、よろしくお願いします。

（座長 滑川公英 座長席に着席）

○座長（滑川公英） ただいまご指名をいただきました滑川公英でございます。

委員長が選出されるまで、しばらくの間、会議の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いします。

ただいまの出席委員は9名、委員会は成立いたしました。

それでは、ただいまより決算審査特別委員会を開会いたします。

本日、林議長、嶋田副議長に出席をいただいております。代表しまして、林議長よりごあいさつをお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（林 一哉） 委員の皆さん、大変ご苦労さまでございます。

ただいま本会議におきまして9名の皆様方に、決算審査特別委員会の委員ということで選任をいたしましたわけでございますけれども、これから正副委員長の互選があるわけでございますので、ひとつよろしくお願いをいたしたいと思います。

決算審査特別委員会自体は、平成22年度の決算という大変重要な審査があるわけでございますけれども、どうか十二分なる審査をお願い申し上げまして、簡単ではございますけれども、あいさつに代えさせていただきます。ひとつよろしくお願いいたします。

○座長（滑川公英） どうもありがとうございました。

それでは、案件でございますが、決算審査特別委員会の正副委員長の互選についてでございます。

初めに、委員長を互選いたしたいと思います。

委員長の互選はどのようにしたらよろしいのでしょうか。指名推選という方法もあろうかとは思いますが、ご意見がございましたらよろしくお願いいたします。

景山委員。

○委員（景山岩三郎） 私は、今このメンバーを見まして……

（発言する人あり）

○委員（景山岩三郎） 方法。失礼しました。指名推選でお願いしたいと思います。

○座長（滑川公英） いかがでございましょうか。指名推選でよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○座長（滑川公英） ご異議なしと認めます。

よって、委員長は指名推選とすることに決しました。

それでは、どなたか推薦をお願いいたします。

景山委員。

○委員（景山岩三郎） 私は、向後悦世委員、ぜひ委員長をやってもらいたいと思います。どうでしょうか。よろしくお願いします。

○座長（滑川公英） 向後委員。

○委員（向後悦世） 今、年長者ということで滑川委員に座長を務めていただいておりますが、期数から言って3期で、年から言っても景山岩三郎委員が3期の中で2番目の年長者ということで、座長の次の年長ということでございますので、ぜひ委員長のほうをよろしくお願いいたしますので、どうぞよろしく。

○座長（滑川公英） そのほかには。

平野委員。

○委員（平野忠作） 私も向後悦世委員と同じ考えでございますので、ぜひとも景山岩三郎委員になっていただきたいと、このように思っています。

○座長（滑川公英） そのほかには。

島田委員。

○委員（島田和雄） 私は、前は建設経済委員長の滑川委員が委員長をされたということで、今回は文教福祉委員長の向後悦世委員が適任ではないかなというふうに思っております。

○座長（滑川公英） そのほかには。

景山委員。

○委員（景山岩三郎） 私も、今、島田委員と同じような考え方でございまして、去年、滑川委員長、私、副委員長やりましたので、今年はぜひ文教の委員長のほうにお願いしたいなと思って指名させていただきました。

○座長（滑川公英） いかがいたしましょうか。

平野委員。

○委員（平野忠作） 今の景山委員の意見も尊重しまして、私は本来であれば年長の景山委員と言ったんですけれども、役職上、委員長をやっていますから、向後委員にお願いしたいと。何か、変わったみたいで申し訳ないけれども、妥当なあれかと思って。すみません、どうぞよろしくお願いします。

○座長（滑川公英） では、推薦人がどちらかという向後委員のほうにというのが数が多いと思うので、ぜひ向後悦世委員に決算審査委員長をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、ここで委員長と交代します。

（委員長 向後悦世 委員長席に着席）

○委員長（向後悦世） ただいま皆様方のご推挙により、委員長を務めさせていただくことになりました向後悦世でございます。どうぞよろしくご協力のほどお願いいたします。

引き続き、決算審査特別委員会副委員長の互選を行いたいと思います。

副委員長の互選はどのようにしたらよろしいでしょうか。

滑川公英委員。

○委員（滑川公英） 委員長が推薦だったので、ぜひ推薦でお願いできればと思います。

○委員長（向後悦世） 指名推選ということでございますが、それでよろしいでございましょうか。

ただいま指名推選ということで、おはかりいたします。副委員長は指名推選ということでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（向後悦世） よって、副委員長は指名推選とすることに決しました。

それでは、どなたか推薦をお願いいたします。

伊藤房代委員。

○委員（伊藤房代） 委員長が文教福祉ですので、総務か建設のほうで副委員長の役をやっていただければよろしいかと思います。

○委員長（向後悦世） ほかに意見はありませんか。

滑川委員。

○委員（滑川公英） できれば、私、伊藤房代委員に同じ3期ということでお願いできればと思いますが。

○委員長（向後悦世） そのほかに何か意見ありましたらお願いいたします。

（発言する人なし）

○委員長（向後悦世） では、伊藤房代委員にお願いしたいということでございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（向後悦世） 異議なしと認めます。

よって、伊藤房代委員が副委員長に決定いたしました。

ここで、副委員長にごあいさつをお願いいたします。

○副委員長（伊藤房代） ただいま皆様から副委員長ということでご推薦をいただきました。頑張ってもらいたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（向後悦世） ありがとうございます。

ただいまの正副委員長の当選結果については、この後、本会議において議長より報告していただきます。

次に、事務局より連絡事項がございますので、よろしくお願いいたします。

事務局長。

○議会事務局長（堀江通洋） 一応、正副委員長を決めていただきましたので、直ちに本会議のほうに移らせていただきます。議長のほうから報告をさせていただきます。

きょうの散会后、また集まっていただきまして、決算審査特別委員会の日程と審査方法について打ち合わせをしたいと思いますので、散会后、またここに集まっていただきたいと思います。

以上です。

○委員長（向後悦世） ただいま事務局より連絡がありましたとおり、本日散会后、お集まりいただきますようお願いいたします。

以上をもちまして決算審査特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでございました。

閉会 午後 1時42分